

31. 林業デジタル・イノベーション総合対策

和5年度補正予算額（林業・木材産業国際競争力強化総合対策の一部）

215百万円

（令和5年度補正予算額（花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策） 6,000百万円の内数）

<対策のポイント>

林業イノベーションプラットフォームの構築・運営、林業機械の自動化・遠隔操作化、木質系新素材等の開発・実証、森林資源情報のデジタル化、木材生産高度技術者の育成、「デジタル林業戦略拠点」の構築等を支援します。

<事業目標>

- 自動化等の機能を持った高性能林業機械等の実用化（8件〔令和7年度まで〕）
- デジタル技術を地域全体でフル活用する取組が普及（デジタル林業戦略拠点が1つ以上ある都道府県数25〔令和12年度まで〕）

<事業の内容>

1. 林業イノベーションハブ構築事業 39百万円

国がイノベーションの推進に向けた支援プラットフォーム構築・運営等を実施します。

2. 戦略的技術開発・実証事業 70百万円

林業機械の自動化、木質系新素材等の開発・実証を支援します。

3. 森林資源デジタル化推進対策

① 森林資源デジタル管理推進対策 143百万円

レーザ計測等による森林資源情報のデジタル化等を支援します。

② 森林情報プラットフォーム化推進事業 11百万円

全国の森林情報を閲覧・取得できるデータプラットフォームの構築等を検討します。

③ 林野火災発生リスク評価対策 4百万円

林野火災発生危険度予測システムの構築と普及方策の検討を実施します。

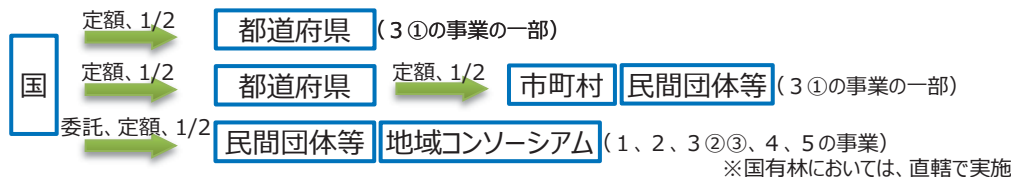
4. 木材生産高度技術者育成対策 75百万円

ICT等先進技術を活用する技術者や現場技能者の育成等を実施します。

5. デジタル林業戦略拠点構築推進事業 78百万円

地域一体で林業活動にデジタル技術をフル活用する拠点づくりを支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

<h3>林業イノベーションハブ構築事業</h3> <p>プラットフォーム</p> <p>○林業事業者や異分野企業等が参画するプラットフォームを構築・運営</p> <p>・先進技術の林業分野への導入に向けて、林業事業者や機械メーカー、異分野企業等のマッチングを支援</p> <p>・地域のニーズを踏まえてコーディネーターを派遣</p>		
<h3>戦略的技術開発・実証事業</h3> <p>○自動化機械、新素材等の開発・実証</p> <p>林業機械の自動化等に向けた開発・実証</p> <p>木の成分を活用した新素材の開発・実証</p>	<h3>森林資源デジタル化推進対策</h3> <p>○レーザ計測での資源情報の整備・公開</p> <p>デジタル林業の基盤を整備</p>	<h3>木材生産高度技術者育成対策</h3> <p>○ICTや先進的な機械等を活用する高度な技術者を育成</p> <p>小型UAVによる空撮</p> <p>森林資源の見える化（森林GISの活用）</p>
<h3>デジタル林業戦略拠点構築推進事業</h3> <p>○「デジタル林業戦略拠点」の構築</p> <p>森林調査、伐採・流通、再造林等へのデジタル活用、通信技術活用等</p>		

【お問い合わせ先】

（1、2、3③、4、5の事業）
（3①②の事業）

林野庁研究指導課 (03-3501-5025)
計画課 (03-6744-2339)